

学位被授与者氏名	王 静 (おう せい)
論文題目	台湾愛情小説家瓊瑤 一時代に足跡を印した半生について
論文審査結果の要旨	<p>当該論文は台湾および中国大陸において愛情小説ブームの火付け役として一時代を確立した小説家瓊瑤の半生をまとめたものである。瓊瑤の出生、家庭環境、人物の性格から彼女の主要作品の分析までを先行研究を詳細に検証しつつ、丹念にまとめ上げている。特に瓊瑤の小説に数多く取り込まれている中国古典詩の出典を地道に明らかにしていくという作業を行いながら、彼女の優美な作品世界の特徴を解明している。さらに、台湾と大陸の青年読者に大きな影響を与えている他の愛情小説家—三毛、亦舒、梁鳳儀の代表作を分析し、瓊瑤作品の特徴との比較を行い、それぞれの作家の作品の共通点と相違点を解明し、指摘した点は当該論文の独自性でもあり、この点は大いに評価できる。ただ、1960代に台湾において文壇の仲間入りを果たし、その後、流行作家となった瓊瑤は 80 年代にはそのブームにも陰りが見え始めるが、80 年代中ごろからは大陸において彼女の人気は再燃する。その要因は何なのかについての分析がやや不十分である点は否めないが、今後の研究に期待したいと思う。</p> <p>平成 24 年 2 月 17 日に、北九州市立大学北方キャンパス本館 B-304 教室において、審査委員全員出席のもとで最終試験を実施して学力を確認し、論文の説明を受け、質疑応答ののちに、全員一致で当該論文が修士（中国言語文化）として十分な内容であると判定した。</p>